

北九州市立図書館指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 第1回 令和4年9月30日(金) 13:00～15:55
第2回 令和4年10月7日(金) 15:00～17:10
- 2 場 所 北九州市立子ども図書館 2階 大研修室
- 3 出席者 (検討会構成員) 尾場瀬委員、隈井委員、中島委員、中尾委員、森委員
(事務局) 教育委員会中央図書館長、副館長(子ども図書館長)
運営企画課長、奉仕課長、庶務係長、奉仕係長、担当者
子ども図書館企画係長

4 会議内容

[第1回検討会]

- 構成員の互選により、座長を選出。
- 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明。
- 応募団体((株)日本施設協会)より、門司図書館・戸畑図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

(構成員) 学校図書館との連携について、中央図書館や子ども図書館からであれば、学校図書館司書に対して声をかけやすいと思うが、地域の図書館からだとなかなか難しいのではないかと。そういった場合の工夫はあるか。

(応募団体) 学校図書館との連携については、今年度から2回に分けて各区の学校図書館の方々とオンラインミーティングを行っている。

その中で、お互いに出向くのは困難だとわかったので、オンラインミーティングや電話の活用を提案した。

(構成員) 障害者の就労体験、職場体験の実施に当たり、車椅子の方が職場で移動できるような状況にあるのか。

(応募団体) 車椅子の方が就労体験する中で、事務室や閉架書庫などで移動する際にはどうしても制約がある。特に、門司図書館は建物自体が古く、車椅子等に対するハード面での課題はあると思うが、市と相談の上、可能な範囲での対応を模索していきたい。

(構成員) 「これからの図書館サービスのあり方について(答申)」の中の、「地域の人材など、これからの役割を担う人材の能力向上を図る」という視点を受けての、子ども目線での提案が多い。

今回の教育改革により、高校の探求学習が導入されており、それに伴い図書館の役割も随分変わっていくと思う。そのような状況の中で高校生や大学生、社会人との連携についての提案はあるか。

(応募団体) 利用者の中で一番、利用率が低いのが中学生高校生である。

どうしても勉強やクラブ活動などで図書館へ来る機会が減ってしまう

ことがある。そうした状況の中で、提案として挙げた「ボードゲーム」が一つのきっかけになると思う。

これは子どもだけに限らず中学生高校生も楽しめる企画であり、またその効果としては、多世代に渡って楽しむことができるものである。

○応募団体（(株) 図書館流通センター）より、門司図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

- (事務局) 利益率10%の積算根拠は何になるのか。
- (応募団体) 一般的に10%は全体の中での利益率になるが、そこでの利益は粗利になる。弊社では一般管理費が粗利の額となる。
- (構成員) 勤務時間が週37.5時間になっている。会社のルールがあるとは思いますが、この時間で業務が回せるのか。
- (応募団体) 弊社の基準労働時間が37.5時間になっているので、その時間になっている。基本的にこの時間で十分、業務は回せる。
- (構成員) 本来の業務以外に新たな事業への取り組みとの提案があるが、そういった時にはプラスアルファの時間が出ると思うが、その対応はどうするのか。
- (応募団体) 基本的には現場のスタッフの勤務時間(37.5時間)の中で問題なく対応できると思う。例えば新たな事業等で現場スタッフだけでは対応できない時には、九州支社または本社がサポートしていくことになる。
- (構成員) 館長の人件費が若干高めになっているが、これは何か理由があるのか。
- (応募団体) 今回、提案している館長候補については、長年の経験がある。年齢が高いということで、人件費が多少高めになっている。
- (構成員) 今回、戸畑図書館に応募しなかった理由はあるのか。
- (応募団体) 指定管理の募集2館について検討した中で、実際現場にいる我々からすると、新たに2館同時の立ち上げは困難だろうという判断で、1館にすることになった。
- また、1館で門司にした理由は、元々、門司図書館の指定管理業務をやっていたという経緯があり、今回の館長予定者も、門司図書館での勤務経験があったということで、門司図書館の方に提案させていただいた。

○応募団体（シダックス大新東ヒューマンサービス(株)）より、門司図書館・戸畑図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

- (構成員) 本市では新たな施設の管理ということになるが、人員確保の目途は付いているのか。
- (応募団体) 正直なところ、人員確保についてはこれから動いていく考えではある

が、弊社の社会サービス事業本部の中にも北九州市在住の者がいるので、そういった人脈もたどっていく予定である。

(構 成 員) 利用者ニーズの把握については、地域毎に特徴的なものも出てくると思うが、どのように行う予定なのか。

(応募団体) まず提案書の中にあるとおり、「利用者アンケート」これを定期的に年2回は必ず実施し、それに対する分析のフィードバックをしっかりと行うということと、それにプラスして、その地域の特徴を足を使って探っていくということも考えている。

(構 成 員) 障害者雇用の状況はどのようになっているのか。

(応募団体) 障害者雇用の状況は、日々、変化するもので、非常に難しいところがある。弊社九州・沖縄支店には障害者定着支援員がおり、その者としてしっかり連携しながら対応していく。

(事 務 局) 電子図書館のライセンスについては、シダックスが持っているものを本市図書館で使用できるようになるのか。一般的には新しくライセンスを買わないと、使用できないと思うが、その辺の仕組みはどのようになっているか。

(応募団体) 貴市にマイナスにならないように実施していく予定であるが、まだ具体的なことは申し上げられない。

(事 務 局) 電子書籍の導入に当たり、コンテンツ購入費用まで指定管理料で出せるとは思えない。シダックス本社が持っているライセンスで使えるようにするのか、そのお考えを伺いたい。

(応募団体) 指定管理料からではなく、会社としてコンテンツを準備していくという提案である。

(事 務 局) その場合、シダックスが持っているライセンスを本市図書館が対価を払うことなく使用することが可能なのか。

(応募団体) その点については、弊社の社長とも話が付いている。

(構 成 員) 図書館に新たな出費が生まれてくということはないということか。ただ逆に指定管理が無くなったときには利用がストップするということになるのか。

(応募団体) 買い取りをした分だけ残るのか、それとも指定管理が無くなった時点で全部利用できなくなるのか、この場では明確にご説明できない。

(事 務 局) 提案の電子図書館システムの関係で提案書にALT（外国語指導助手）への人材確保をサポートという内容があるが、これについて詳しく伺いたい。

(応募団体) ALTの方に電子図書館システムがどのように使えるかなどについて弊社で指導させていただき、サポートするという内容で提案させていただいている。学校などで電子図書を利用する機会がもっと増えてくる中

で、このようなサポートがあることを認識していただけたらと思う。

(事務局) ALTに関しては、本市で既に契約を結んでおり、そのALTがこのサポートを受けられるものと理解してよろしいか。

(応募団体) 提案の内容としてはそのような理解でよいと思うが、曖昧な回答になってしまうので、この件については、一旦、持ち帰らせていただき、後日、改めて、回答させていただきたい。

(構成員) 電子図書について、図書館アプリを市立図書館全館に広げるという提案のようであるが、どういう告知をするのか。指定管理の図書館であれば館内で告知ができると思うが、それ以外の施設を利用される方に対してはどのように告知を行うのか。

(応募団体) 一般的には「図書館だより」に掲載させていただくとか、市の広報に掲載させていただく。または商業施設のチラシなど色々な広報を考えていきたいと考えている。

(構成員) 指定管理の期間が完了した後はどういう扱いになるのか。

(応募団体) こちらも現在、開発途中で、来年1月頃から利用できる予定になっているため、取り扱いについては検討させていただきたい。

- 次回の検討会で、各構成員が検討シートを持ち寄り、検討会としての審査結果を取りまとめることを事務局より説明し、第1回目検討会終了。

[第2回検討会]

- 構成員は、門司図書館及び戸畑図書館に対する応募団体の提案内容のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を発表。その後、構成員全員で意見交換を行った。

門司図書館（大里分館、新門司分館含む）

・「適性」についての意見

(構成員) 管理運営の理念について、日本施設協会は特別秀でた個性には欠けるが、図書館運営の経験があり、役割認識をきちんと持っているように感じた。人的・財政基盤は不安定な状況が見られなかった。

図書館流通センターは、図書館管理を得意とする会社で、独自性も発揮している。

人的・財政基盤は、不安なところは見られなかった。実績と経験は、ハンドブックを用いてスタッフの人材育成を行っている。

シダックスは、図書館管理の独自性が見られなかった。人的・財政基盤は、人員確保等の計画が曖昧な印象だった。実績・経験は、全国の比較的地方の図書館運営の実績はあるが、その成果というのが資料やプレゼン

の内容からわかりづらかった。

(構 成 員)

日本施設協会は、管理運営の理念のところは、これまでの実績等十分能力を有していると評価している。独自性、個性については、特別評価に値するものはないと感じた。

人的・財政基盤については、他の二社に比べると決して規模的には大きいとは言えないが、これまで実績もあるので、十分に運営をしていけると思う。

図書館流通センターについて、管理運営の理念のところは、「これからの図書館サービスのあり方について（答申）」における基本的な方向性を踏まえた提案が分かりやすくまとめられていた。

人的・財政基盤は全く問題なく、十分安定した運営が期待できると思う。

シダックスの管理運営の理念は、図書館運営の基本的視点などについては一応の能力を有していると思うが、独自性や個性については特に評価するものはなかった。

人的・財政的基盤は安定していて十分な能力を有していると感じた。

実績・経験等は、図書館業務、特に実績は十分だが、成果は、一応の能力を有していると思う。

(構 成 員)

日本施設協会については、実績・経験としては、長年、北九州の指定管理者を受託して司書の資格者も 91%であり、適切なサービスが今までできており、今後も期待できる。

図書館流通センターの理念と、実績・経験についてだが、北九州の図書館だけでなく、関連の図書館の指定管理も実績があるので評価をしている。経営状況だが、財務諸表を見たが特別に問題点はなかった。

シダックスは、いろんな細かい提案があるが、独自性とか北九州にとってどうなのかといった評価は、なかなか難しい面がある。

人的・財政基盤は、規模的にも安定感があるし、事業も幅広くやっているのので、その辺は評価ができると思う。

ただ図書館に限っては、実績・経験について北九州での経験が他の二事業者に比べて少ないので、比較して評価するのは難しいと思った。

(構 成 員)

日本施設協会は、管理運営の理念については、施設や建物管理的なところが多く、対人的な面が見受けられなかった。

実績・経験も、目新しいものもなく、わくわくしなかった。

図書館流通センターは、にぎわいづくりの視点とか、SDGsの視点、電子書籍の記載があった。

シダックスは、管理運営の理念の面で、全国的な感じと、来られる方を楽しませたいというイメージが見えた。

実績については、北九州の実績が全くないので、読めないところではあるが、色んな経験があると思った。

(構 成 員)

日本施設協会は現在もやっているということで、一定の評価をした。

図書館流通センターは、全国展開している団体ということで、都会感があるというか、サービスの質が高そうだという雰囲気があった。

シダックスの理念については、子供向けとか若者目線でやっていこうという感じが提案から伺えた。

・「有効性」についての意見

(構 成 員)

日本施設協会は、設置目的の達成に関する多くの提案をしており、達成できるかは別として、これだけのことをやるのであれば評価できる。

利用者満足度の向上については、一応の能力を有していると評価する。

図書館流通センターは、設置目的の達成について、すべての項目ですごくわかりやすい提案がなされており、十分な能力を有していると評価する。

利用者の満足度の向上のところだが、こちらもすべての項目でわかりやすい提案がなされており、十分な能力を有していると評価する。

シダックスは、設置目的の達成のところ、数多くの提案をしており、これだけ実施できるかは疑問ではあったが、達成できたらと思い評価した。電子書籍等の提案については、すごく魅力的な提案だが、不安要素が多いという評価である。

利用者の満足度の向上については、図書館サービスの質を向上させ、利用者の声を聴き反映させるためのPDCAサイクルを活用した取組及び体制は整っており、一応の能力を有していると評価した。

(構 成 員)

日本施設協会については、情報発信や、カフェスペース等の利用、地域の活性化を図るような活動が少し弱い。

利用者の満足度については、いろいろな情報を集めて対応策を図っていくようなことが書いていて、一定の対応を考えていると思った。

図書館流通センターは、いろいろなサービスが計画されているが、ニーズに対して提案が直結していないような気がした。

満足度については、スタッフの能力向上のための研修も十分にされており、様々な取り組みを評価する。

シダックスは、いろいろなイベントの提案や、有効性について、地域連携の体系図等が書かれているが、具体的な活動が非常に分かりにくい。

満足度については、いろいろな提案があるが、電子図書館や図書館アプリなど、今後の北九州の図書館運営の一つの方向性かもしれないが、費用とか運用のノウハウ、そういった特別なものがあると思う。

(構 成 員) 日本施設協会は、実績もあって、匂い対策などもきちんとしているが、次の運営に対する目玉を感じなかった。利用者満足度も、たくさん書いてあったが、具体的なものが見えてこなかった。

図書館流通センターは、調べる学習コンクールや未就学の保護者の参加等子育て支援的なことが書いてあったので、すごくいいと思った。門司の特性をすごく把握していると思った。

シダックスは、設置目的は具体的なことをいろいろ書いているが、それを実現できるかどうかは別として、障害のある人や、医療的ケア児のこと、妊娠中の人等への宅配サービスの提案もあったので、これは皆も望んでいると思った。

利用者満足度も、紙ベース以外のQRコードもあると答えやすいし、きちんと連絡できるし、ヒヤリハットは謳ってあるのはここだけだったので、そういう取り組みが次のいろいろなサービスに繋がると思った。

(構 成 員) 日本施設協会は、子どもの読書活動推進、子ども読書プランに沿った提案が示されており、大きなイベントを開催することだけに偏ることなく、日々のサービスの平準化に向けた工夫がみられた。

満足度だが、地域の声を反映して大人向けのイベントなどを行っていることは評価できると思った。また子ども図書館以外でも読書ノートの作成の取り組みは評価できると思った。

図書館流通センターは、ティーンズの棚づくりや、中高生を意識した取り組みが評価できると思った。いい提案がいっぱいあったが、果たして北九州で実現できるのかなというのがあった。

シダックスは、取組の提案は具体的なところがわかりづらかった。アプリや電子図書館のことも、具体的にどうなのかという部分があった。

満足度については基本的に三社も同じ感じかなという評価とした。

・「効率性」についての意見

(構 成 員) 効率性、特に経費、あとはバランスで、経費をどこにどんなふうに重点的に配分して活動するかというところは、トータルで見ると、特に問題はなく提案されていると思った。

日本施設協会は、適正に運営されているとは思った。

図書館流通センターは、館長の報酬が高く設定されているのが少し気になった。

シダックスは、大手の企業で、非常にうまく書いており、特筆すべきことはなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、全部きれいに使って利益がないが、これは本当なのか

と思った。

図書館流通センターは、ちゃんと利益はもらうと言っているのだから、これが普通だと思った。

三社とも帳面上はきちんとしていた。

(構 成 員) 指定管理に係る経費について、日本施設協会は、職員の質やモチベーション向上のために、処遇面の改善をした方がいいのかなと思った。

図書館流通センターは、他社と比べて経費に差があるのが少し気になった。

シダックスは、特に平均的で問題は見られなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、経費の削減等に取り組む姿勢は評価できるが、事業数が多いにも関わらず、事業費が少ないのがなぜかと思うところがあったが、今までの実績も考えてその辺は何とかなるのかなと思った。

図書館流通センターは、経費としては高い金額を提示しているが、その中で経費の考え方や、図書館の管理運営に係る収支計画の内容はすごくわかりやすかったのだから、安いからいいというわけではなく、経費の使い方が合理的で、無理のない計画で作られた計画書だと思った。

シダックスは、これまでの実績もあるが、図書館業務に関して市が示す経費より1%近く安く設定しているのは評価できるが、この経費でできるのかなという不安がよぎった。

・「適正性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、提案書、計画に取り組みなどが書いていたが、会社というより個々の職員が頑張っているというのがすごく出でおり、少し他力な感じがした。

図書館流通センターは、全国的な研修の支援等、職員体制、他からのバックアップ体制がきちんとしており、職員も働きやすいのではと思った。

事故対応も具体的で、パソコンのインターネット回線の引き分け等もきちんとして書かれている。ユニバーサルデザインの明確化や、こころのバリアフリーや、講座の聴講の情報保障についても書いてあるのはここだけだったので、できたらすごいと思った。

手話通訳、要約筆記を準備しますと書いてあったので、平等に利用できると思った。

シダックスは、人員配置をきちんとしていて研修もあるのと、障害者雇用もうたわっていた。

(構 成 員) 日本施設協会は、積極的なレファレンスの向上とはうたっているが、資格・経験を生かして、カウンターの中だけでなく、カウンターを出た配置の提案というのもあったらいいと思った。

図書館流通センターは、たくさんの図書館を全国的に運営しているので、情報交換をして、北九州でもやっていって欲しいと思った。

危機管理の面で、すでに過去に災害があった岩手や熊本の図書館の管理経験を有しているのので、対策を共有していると思った。

シダックスは、特に、特徴があるところはないが、無難な提案をしていると思った。

(構 成 員) 日本施設協会の管理運営体制については、これまでの実績も踏まえて、問題ないが、特にすぐれた提案というのを感じられなかった。障害者雇用に関する記載がなかったが、平等利用等については、事業計画の取り組みの内容から、十分な能力を有していると評価した。

図書館流通センターについては、障害者雇用についての取り組みを十分評価できると思った。平等利用等について、すべて項目について適切な提案がなされていた。危機管理体制等も十分であった。

シダックスは、内容が少しわかりにくい点もあったが、一応の能力を有していると評価した。平等利用等については、一応の能力を有していると判断した。

(構 成 員) 日本施設協会の管理運営体制だが、職責とその役割分担が組織的に展開されていることが説明されているが、障害者雇用で障害者を受け入れたとき、どういう仕事でどんなふうに関わってもらおうかというようなことは読み取れなかった。

図書館流通センターは、運営体制については読んでわかったし、平等利用についてはいろいろな方策を使って、皆が利用できるようなことが考慮されていると思った。

シダックスは、運営体制は、妥当な人員配置がなされており、それから平等利用についても、特に取り上げるような問題はなかった

(構 成 員) 平等利用等について高めの評価をしたのは、図書館流通センターで、ユニバーサル事業や全国規模の進んだ取り組みなどを、市内に取り入れることは高く評価ができると考えた。

○ 協議の結果、検討会として評価レベルを、

株式会社日本施設協会は、

適性 (1) 施設の管理運営に対する理念は 4、(2) 人的・財政的基盤は 4、(3) 実績・経験は 4、有効性 (1) 設置目的の達成は 4、(2) 利用者の満足向上は 3、効率性 (3) 指定管理料は 3、適正性 (5) 管理運営体制は 3、(6) 平等利用等は 4 に決定。

株式会社図書館流通センターは、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は４、（２）人的・財政的基盤は４、（３）実績・経験は５、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は４、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は４、（６）平等利用等は４に決定。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は３、（２）人的・財政的基盤は３、（３）実績・経験は３、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は３、（６）平等利用等は４に決定。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社図書館流通センターが市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。

戸畑図書館

・「適性について」の意見

（構成員） 日本施設協会は、管理運営に対する理念について、独自性はないが、図書館の正確性を理解した内容だと思った。

実績・経験は、現在戸畑図書館で、職員全体であらゆる取り組みがなされていると評価した。

シダックスは、管理運営に対する理念について、図書館管理の独自性は見られなかった。人員確保等が曖昧な印象である。

実績・経験も、図書館運営の実績、成果というのがわかりづらかった。

（構成員） 日本施設協会は、管理運営の理念は、現在の指定管理者ということを踏まえ、十分な能力を有しているとは評価する。人的・財政基盤のところは、財政的な問題はなく、資産規模は決して大きいとは言えないが一応の能力を有しているとは評価した。

実績・経験については、図書館運営等の実績から、専門的知識や資格、経験は十分な能力を有しているとは評価できる。

シダックスは、管理運営の理念については、一応の能力を有していると思う。人的・財政基盤については、財政基盤については、十分な能力を有していると思った。

実績、経験の方については、これまでの実績も十分評価できるが、成果についてはわからなかった。

（構成員） 日本施設協会は、指定管理者をやっているという実績から、経験やスキルなど、いろいろな改善に向けての取り組みがあり評価できる。

人的・財政基盤については、要員の確保のところ、現在の指定管理者で、雇用を継続することができるので特に不安はないと思う。

実績・経験は、長年公立図書館の運営実績があるため評価する。

シダックスは、管理運営の理念、人的・財政基盤は評価できるが、実績・経験については、北九州での経験が少ないので評価が難しい。

(構 成 員) 日本施設協会は、管理運営の理念は、独自性がないと感じた。人的・財政基盤は、財政はちょっと弱いかもしれないが、人的なものは、すごく充実していると思う。

シダックスは、人的なものは未知数だが、北九州にはない色々な提案を提供していて、図書館にはない経験がもしかしたら違うところに波及してプラスになるのかなと思った。

・「有効性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、施設の設置目的の達成に係る数多くの提案は評価できる。利用者満足度向上も、この内容に当たる提案がきちんとされており、一応の能力を有するとして評価した。

シダックスは、設置目的の達成については数多くの提案があるが、これだけ実施できるのかどうか、不安なところはある。

電子図書の利用については、すごく魅力的な提案だと思うが、実際できるのかどうか不安要素が多い。利用者満足度向上のところは、図書館サービスの質を向上するため、利用者の声を取り入れるための「PDCA」サイクルを活用した取組体制等は、評価できる。

(構 成 員) 日本施設協会は、いろいろな提案が書かれているが、利用者ニーズも広く取り込んで関連機関との連携を計画しており、意欲を感じる。

シダックスはいろいろな活動機関と連携した計画があるが、地元の自治体やホームページ、情報発信についての記述、カフェスペースの活用について書かれていないのは気になった。

(構 成 員) 日本施設協会は、展示等の情報提供が紙ベースのみで目新しさを感じない。せつかく高校との連携をうたっているのに、一つずつ単独で繋がっていくような提案だったので、連携が必要だと感じる。

返却本の配架の迅速な対応と書いてあったが、ニーズがそんなにあるのかと思った。話題になった本の提供をするような記述もなく、利用者の満足度向上は、積極的なものを感じなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、地域の施設や学校図書館との連携が、少しずつ前向きに取り組んでいることは評価できる。

利用者の満足度については、図書館の構造上利用しづらいところもあるが、案内版の設置の仕方など、工夫したらいいと思った。

(構 成 員) 日本施設協会の取り組みで言うと、利用者同士の推し本の企画。これは

非常に面白い取り組みだと思った。

・「効率性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、いろいろな経費があるが、効率的、効果的で妥当ではある。その中で、日常的な費用削減活動というようなものを、活動の中に入れていかないといけないと思った。

シダックスは、あまり細かい説明がないが、予算をうまく使っていくということを日常的に管理していく必要があると思った。

(構 成 員) 日本施設協会は、経費節減の取り組み姿勢は評価できるが、事業の提案が多いにも関わらず、事業費がないのが疑問に感じた。

シダックスは、管理運営にかかる費用については、市の示す経費の上限の中で0.5%低く収まっているところは評価できる。

戸畑の場合カフェを運営するという条件がついていると思うが、シダックスはカフェの計画がなかった。

・「適正性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、管理運営のところに障害者雇用というのが書いてあるが、特別支援学校の見学や就労に役立つデュアルシステムへの協力、制作物の展示などを図書館で行っており、就労支援を担っているということを書いているのは、かなり視点がずれていると思った。

事故に対する取組はいろいろとしており、カウンターに無人の時間を絶対作らないとあったが、少ない人数で現実的には無理な時間もあるのではと思った。

平等利用に関しても、社会的弱者や図書館を利用しにくい人に対する提案が全くなかった。

シダックスは、平等利用に関しては、借りにくい方にアウトリーチするために、わざわざ出向いていこうと提案しているのは、現実にはできないかもしれないが、提案自体を評価した。

(構 成 員) 日本施設協会は、現在、戸畑図書館を運営しているが、実際行ったらわかるが、すごく閉鎖的な感じがして、今はコロナ対策でビニールの仕切りがあり、声もかけにくく、しかしカウンター内には結構人がいる。

図書館の棚のところには図書館員が一人もいないため、何か聞きたくても聞きづらい。

1階も2階もそうだが、少し閉鎖的な感じがあるので、人員を有効に配置する配慮が欲しい。それでも今運営はきちんとされているとは思いますが。

シダックスの提案は、特に問題はないと思うが、果たしてできるのかというところもあった。

(構 成 員) 日本施設協会は、指定管理、危機管理については、これまでの実績から、

管理体制には問題はないと考えるが、特に優れた提案等はなく、障害者雇用に関する記載はなかった。平等利用等については、取組内容から十分な能力を有しているとは評価した。

シダックスについては、管理体制に関し一応能力は有しているとは評価する。平等利用等については、特に評価すべき点が見つからなかったが、一応の能力を有しているとは判断した。

- 協議の結果、検討会として評価レベルを、

株式会社日本施設協会は、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は４、（２）人的・財政的基盤は４、（３）実績・経験は４、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は４、（６）平等利用等は４に決定。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は３、（２）人的・財政的基盤は３、（３）実績・経験は３、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は３、（６）平等利用等は４に決定。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社日本施設協会が市の要求水準を満たしており、十分な能力を有しているとは認められた。
- 事務局から門司図書館と戸畑図書館のそれぞれについて合計得点が発表された。検討会は、検討会における議論も十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。